

広い世界とつながる

校長 宇井 知隆

皆さんも毎日の生活の中で世界とのつながりを意識する機会があるでしょう。

世界で活躍するスポーツ選手の様子、世界経済の様子、日本を取り巻く国々の動き、国同士の争い事など、世界のニュースは瞬時に私たちの元に届きます。

それらのニュースは私たちの生活に潤いをもたらすこともあれば、悲しみや憤りにつながるものもあります。

また、直接私たちの日々の生活が世界に影響を及ぼすことにもなります。SDGsの理念に基づいた活動は、世界を少しずつ変えています。

鹿屋市教育委員会では、Sustainable English Education (持続可能な英語教育)を通して、グローバル人材の育成を進めています。グローバル (glocal) とは、グローバル (global: 地球規模の) とローカル (local: 地域的な) を合わせた言葉で、「地球規模の視野で考え、地域で行動すること」を言います。

本校でも英語や総合的な学習の時間を中心に、グローバル人材の育成に力を入れています。先日お伝えした台湾の Pinglin (ピンリン) 小学校との交流もスタートしました。

5月、6年生から交流活動をスタートさせました。台湾の人と英語で話すのは初めての児童もいたでしょう。そして、英語の必然性を感じ、英語が通じた喜びを感じたことでしょう。



英語を通して外国と関わった原体験は、児童のこれからの生き方に必ずつながるはずです。

今後ともピンリン小学校との交流は、定期的に行っていきます。保護者や地域の方々にもご覧いただきたい授業の一つです。Twitter等で案内を行います。本校児童が世界とつながる授業をぜひご覧ください。

本校に関連する国際交流事業について、今後の予定を紹介します。

8月19日 (土) : タイの児童生徒との交流 (細山田子ども会との共催)

10月16日 (月) : 市英語弁論 (スキット) 大会 (市文化会館)

1月21日 (日) から : 台湾教育大学教育実習生受入 (本校で2週間程度)

2月14日 (水) から : 鹿屋市PR大使台湾派遣 (3泊4日)

PR大使は、市内の小中高校生から希望者を募り、選考することになっています。本校児童にもぜひチャレンジしてもらいたいと考えています。



市公式 LINE

私自身もこれまでに外国で生活をする機会がありました。

「日本はどんな国なの?」と必ず聞かれます。日本文化や生まれ育った地域のことを学んでおく必然性を感じました。また、それぞれの国には日本と違う生活習慣やしきたりが存在します。「郷に入れば郷に従え (When in Roma, do as the Romans do)」の感覚を肌で感じました。

それらの貴重な経験は、今の仕事に間違いなく生きています。

～創立150周年記念事業「人文字」航空写真撮影 大成功～

延期となっていた「人文字」航空写真撮影を5月25日に実施しました。当日は、児童・職員にお加え、保護者・地域・園児の参加協力もいただき、300名近い人数での撮影となりました。地域があつてこそこの細山田小学校。これからもよろしく願います。写真は、後日南日本新聞で紹介していただきました。（裏面）



～保護者に感謝！PTA奉仕作業～

今年度の第一回PTA奉仕作業が行われました。早朝より、多くの保護者に参加していただき、プール周辺やフェンス周りなど、今日育環境が整いました。学校だけでは行き届かない環境整備です。細山田小PTAの力に感謝します。ありがとうございました。



～学習(生活科)の中で、地域との関わり大切さを一緒に学ぶ！～

生活科の校区探検に出かける計画を立てた2年生。日頃、お世話になっている駐在所のおまわりさんに「お花のプレゼント」を届けました。当日の朝、校門に見守りに来られた際、「花を駐在所に植えたいな。」の一言から実現。いつも、子供達のために、ありがとうございます。地域を学びながら、子供達が地域に支えられていることを実感し、感謝の気持ちを伝える機会になりました。



～宿泊学習・エコバス見学！ 校外学習の充実が子どもを育てる！～

<5年生>

1泊2日の宿泊学習に大隅青少年自然の家まで行ってきました。多くの体験活動を行う中で、整列や清掃活動、時間を守る行動に、施設の職員等から、たくさんの称賛の言葉をいただき、子供達にとって、体験活動と共に、自立への自信を高める貴重な経験となりました。

<6年生>

総合的な学習の時間での「平和教育」の一環で、鹿屋航空基地資料館、平和公園に行ってきました。資料館にある展示物や解説から、一人一人の心の中に平和への思いや感謝の気持ちが大きく広がり、平和について自分なりの考えを深める機会となりました。

学校に戻るとその経験や学びを語る両学年の子供達の姿に、校外学習を通じた体験的学びの充実が子供達にとって重要であると改めて感じました。今後の学習に活かしていきます。



◇ 7・8 月 行 事 予 定 ◇

日	曜	内 容 等	日	曜	内 容 等
7月行事			7月行事		
4	火	委員会活動⑥	17	月	●海の日
5	水	集金日	19	水	ほたる号(市立図書館)来校
7	金	水泳発表会高学年①, 中学年②, 低学年③④	20	木	終業式①, 大掃除② 下校時刻 12:15
		学級PTA 15:15～下学年, 16:00～上学年	21	金	夏季休業日(～8月31日)
8	土	CSの日	23	日	メディアコントロールデー&親子読書の日
		①②夏休みの課題に向けて(高), ②③SDGs3年	8月行事		
11	水	クラブ活動⑥	1	火	出校日 下校時刻 10:30
13	木	着衣水泳(上学年)	21	月	出校日 下校時刻 10:30
14	金	着衣水泳(下学年) ※プール納め	27	日	PTA奉仕作業 8:30～11:00頃
		担任と語るう会 下校時刻 15:10			

英語で台湾と交流

細山田小6年

和田 なな

台湾のピンリン小学校とインターネットを使って交流会をしました。今まで習った英単語や文章をつなぎ、自分の名前と好きなスポーツを紹介しました。

私の発音でうまく伝わるか心配でしたが、ピンリン小のみんなが英語でリアクションをしてくれました。ほっとしたと同時に、うれしくてたまりませんでした。

失敗なく自己紹介をした後、私は将来の夢について、私は将来の夢について

だから小学生のうちから英語をくわしく勉強したいです。そのためにも、今回の交流は、英語で発表する勇気や自信をくれる最良の機会だったと思います。

これからもピンリン小との交流の機会を大切にしながら、みんなと楽しく英語を学び、生かせるようになりたいです。

(鹿屋市)

R 5. 5. 2 3

南日本新聞

台湾児童と英会話 オンラインで交流

鹿屋・細山田小

鹿屋市の細山田小学校の6年生31人が15日、台湾の坪琳小学校の6年生とオンラインで英会話交流した。写真。両校児童は英語で簡単な自己紹介を交わし、理解を深めた。

同市教育委員会が進める交流事業の一環。市内の10



小学校はそれぞれ台湾の小学校と交流協定を結んでおり、坪琳小は細山田小の相手校。同日は画面越しに好

きな食べ物やスポーツについて語り合い、坪琳小側からは「日本でラーメンを食べたい」「台湾に遊びに来て」との声が上がった。

両校は今後も定期的に交流授業を実施する予定。参加した山下琴生さんは「台湾のみんなは英語がうまくて明るくて楽しかった。自分ももっと話せるようになりたい」と笑顔だった。

(寺師周平)

R 5. 5. 2 2

南日本新聞

校児童216人に加え、近くの保育園児や住民など計約300人が参加した。児童らは紅白の画用紙を掲げて「祝150周年」を表現したり、手を大きく振った



りして写真に納まった。5年新保杏さんは「どんな写真が出来るかワクワクする」。6年折田咲也君は「今年はますます楽しい学校生活になりそう」と笑った。同校は1874年(明治7年)に創立した。

R 5. 6. 1